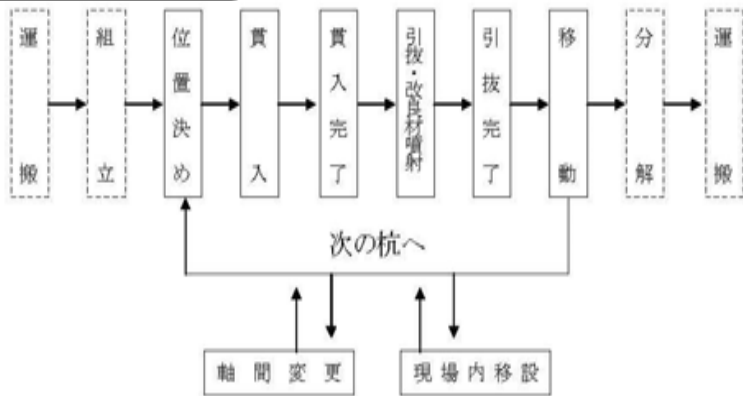


工法概要

軟弱地盤の安定化を図るため、セメント系、石灰系などの改良材を粉粒体のまま圧縮空気で圧送し、攪拌機における攪拌翼の付け根から半径方向に噴射させることにより均等にまきだし、攪拌翼により軟弱土と混合して固結パイルを造成する工法。

施工フロー



攪拌機(二軸)による打設状況



補助作業(敷鉄板移設)

改正概要

日当り施工区分の見直し

・歩掛の簡素化の目的で施工区分を大括り化

単軸 8区分 **5区分** 二軸 9区分 **6区分**

補助作業(敷鉄板敷設)における、**施工機械の見直し(二軸)**

ラフテレーンクレーン(4.9t吊り)

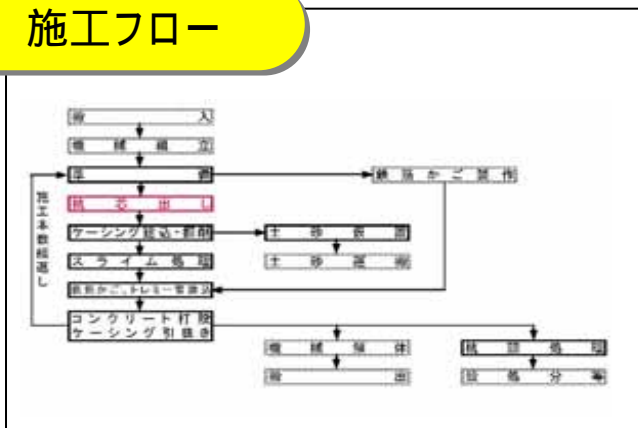
バックホウ(クレーン機能付0.8m³)

2. 場所打杭工(オールケーシング工・硬質地盤用オールケーシング工)

工法概要

ケーシングチューブを建込み、チューブを押し込みながらハンマーグラブで土砂を搬出し、内部にコンクリートを打設しながらケーシングパイプを引き抜くことによりコンクリート杭を施工する基礎工。

施工フロー



掘削状況



鉄筋かご建込

改正概要

適用範囲(杭径)の見直し

- ・全回転式において、適用範囲を拡大

杭径1,000 ~ 1,500mm

杭径1,000 ~ **2,000mm**

施工機械の見直し

- ・掘削長が深い場合、大型の掘削機を使用
- ・掘削機吊り上げ用のクレーンが大型化

掘削長30m超えの時

1500級

2000級

揺動式: 30 ~ 35t吊

50 ~ 55t吊

全回転式: 50 ~ 55t吊

60 ~ 65t吊

補助作業歩掛を新規制定

- ・バックホウによる補助作業(整地・集土作業)の新規制定

施工形態(職種)の見直し

- ・高所作業の軽減により編成人員が変化

とび工: 2人

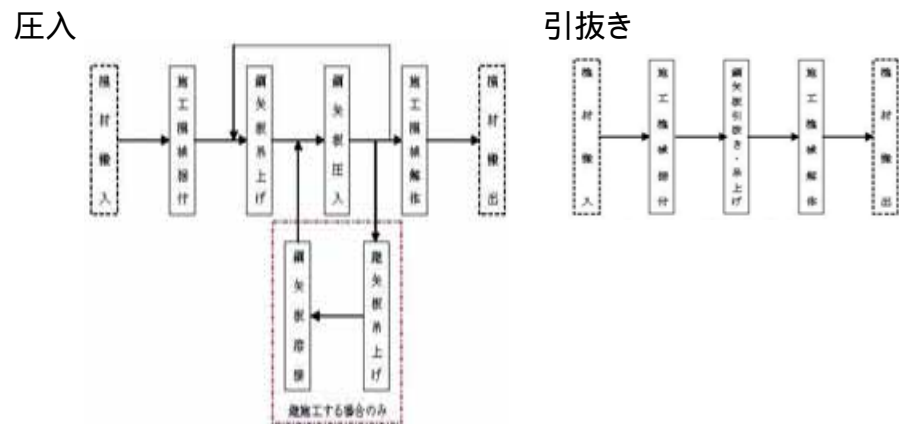
とび工: 1人 特殊作業員: 1人

3. 鋼矢板(H形鋼)工(油圧圧入引抜工)

工法概要

油圧式杭圧入引抜機により鋼矢板を圧入(引抜き)する仮設工法。
周辺環境によりバイプロハンマ工による施工が困難な場合に低騒音・低振動で鋼矢板の施工が可能。

施工フロー



施工状況(圧入)



施工状況(引抜き)

改正概要

適用範囲の見直し

- ・N値の大きなところでも対応可能な施工機での施工が増加
- ・普通鋼矢板 L 型の施工の増加

日当り施工量の見直し

- ・圧入において、施工機の技術革新、施工件数の増大による施工効率上昇により日当り施工枚数が増加

ハット形鋼矢板の歩掛を新規設定

N値50まで N値180まで
普通鋼矢板: ~ 型 ~ L型

4. 地すべり防止工(山腹水路工)

工法概要

地すべり地域内の降雨等を速やかに集水して地域外に排除するために、集排水路を設置し、地すべりを防止する工法



水路布設



集水舂据付

改正概要

名称変更

・積算大系の記述に合わせ名称変更。 水路工 **山腹水路工**

日当たり歩掛化

・山腹集水路・排水路、山腹明暗渠、山腹暗渠について、10m当たり歩掛から日当たり歩掛に変更。

機械据付歩掛の新規設定

・山腹集水路・排水路、山腹明暗渠における、U型側溝の施工について機械(クレーン機能付きバックホウ)を用いた歩掛を制定。

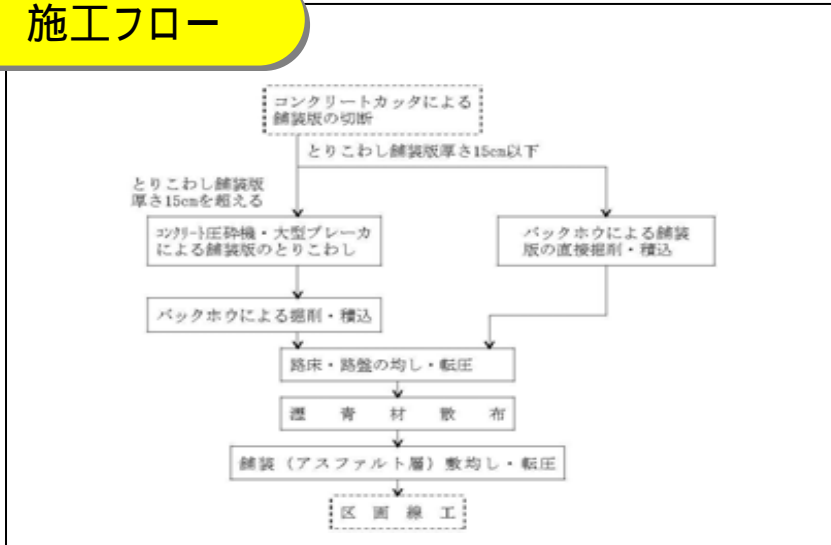
集水舂設置歩掛の新規設定

5. 道路打換え工

工法概要

舗装の損傷が激しく、応急修理や維持工法では良好な路面を維持することができない場合に、舗装版（路床まで）の取り壊しから舗装までを1日で急速施工する現道打換え工法。

施工フロー



舗装版とりこわし



舗装敷均し・転圧

改正概要

適用範囲の見直し
施工機械の一部賃料化

日当り平均作業量 350m²まで **420m²まで**

・リース機械による施工実態が過半数になっていることより下記機械を賃料化。
大型ブレーカ、バックホウ、ブルドーザ、コンクリート圧砕機（ベースマシンのみ）

舗装版取壊し機械の見直し

・舗装版取壊しにおいて、狭隘現場での施工性、安全性の確保から小型の機種が多く使われる傾向。

大型ブレーカ 0.45m³級 **0.25～0.3m³級**
コンクリート圧砕機 破砕力843～981kN **600kN級**